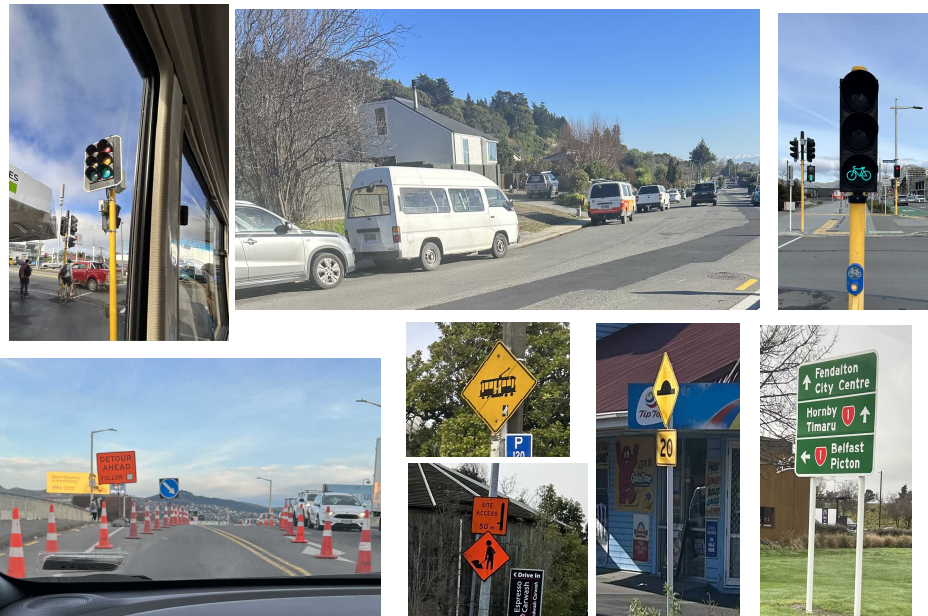


ニュージーランドと日本の交通ルール

赤井菜波



信号機について

縦向き。左折、右折したい場合は隣の信号が青になったらできる。ひとつの場所に信号機がいくつもある。
歩行者用の信号と自転車用の信号がある。 (渡って良い)
歩行者用のボタンを押すと青に変わるの早い赤になるのもとても早い。赤になると点滅する。

相違点

踏切の一時停止なし。ラウンドアバウト
全員シートベルトをする。
コーンが並べられているところが多いが、日本のように棒で繋がっていない。
凸とした所が多い。(バディによるとスピードを落とさせるため。)
自転車に乗っている人が少ない。スクーターの移動が普通。道路が広く、脇に車を止めて良い。
運転免許は16歳でとれるため、車で高校に通っている人が多い。
横断歩道がない所を車に注意しながら渡っている人をよく見かけた

共通点

左側通行。日本メーカーの車が多い。横断歩道はスプライト(無い所も多かった)

感想

特に驚いたのはバディの高校生のお姉さんが朝学校まで車で送ってくれたこと。日本より運転免許やアルコール、ギャンブル、タバコが2歳若くから可能らしい。標識のピクトグラムでデザイン性が高いなど感じた。また、日本よりも人口密度が低く、土地が余っているところから道路が広いことがわかった。そのため、どこでも道の脇に止めてある車が多いことやラウンドアバウトが多いことが印象に残った。

目にするもの、耳にするもの全てが驚くことばかりの異国の中で自分の精一杯の言葉で伝え、あまりに一生懸命着いていくことがこんなにも大変なんだということを実感した。しかし、現地の人、特に学校ではすぐに私を受け入れてくれてとても安心出来た。笑顔で受け入れ貰えるだけで安心でき、話しかける勇気が持てた。挨拶をされるのがこんなに嬉しいということに気づいた。日本の文化より上下関係がフラットなことも関係していると思う。しかし、ニュージーランドで学んだ文化として、自分が受け入れる側の際は自分が嬉しかったことを相手に返ししたい。